

第 1 回会議における各委員からのご意見と区の方

資料 1

No.	ご意見	区の方
1	郵送なので、対象者の生年月日やきょうだい数などの世帯情報は、区で把握できるのではないのでしょうか？ そうすれば、世帯情報に関する質問を省くことができると思います。	検討しましたが、対象世帯の情報を入力すると誤送付や紛失などの事故があった場合に、個人情報漏れてしまう可能性があり、世帯情報を伺う質問を残したいと考えています。
2	新たに追加された問②について、「頻繁に感じる不安なことについて…」とあるが、「日ごろ」との表現がよいのではないのでしょうか？ 問② 頻繁に感じる不安なことについて、 1. 子どもの発育・発達に関すること 2. 子どもの生活リズムに関すること	ご意見のとおり、修正します。 ⇓ ⇓ 問② 日ごろ感じる不安なことについて、 1. 子どもの発育・発達に関すること 2. 子どもの生活リズムに関すること
3	外国人が回答するには難しい日本語が使われています。何か対応はできないのでしょうか？	事務局で外国語（英・中・韓）に対応した調査票の作成を検討しましたが、費用対効果の観点から、今回は、ふりがなを付けることで対応したいと思います。 ⇓⇓⇓ ふりがなのイメージ ⇓⇓⇓ ちょう さ ひょう [調 査 票] 問1 あてな こ 宛名のお子さんからみて、回答する方はどなたですか（1つに○）。 1 ははおや 2 ちちおや 3 その他（ ） 問2 おち あてな こ にそだ せういふ んく 主に宛名のおさんの子育て（教育を含む）をしているのは、どなたですか（1つに○）。 1 ふ げ 父母ともに 2 おち ははおや 主に母親 3 おち ちちおや 主に父親 4 おち そ ふ げ 主に祖父母 5 その他（ ）
4	【就学前】調査票で、育児休業に関する質問が多く削られています。その理由は？	区としては、子ども・子育て支援法に掲げられるとおり「保護者が子育てについての第一義的責任を有する」という考え方にに基づき、より子どもが幼い期間は育児休業を取得し、子育てを行っていただきたいと考えています。
5	育児休業が十分に取れている状況なのか、取れないときは何が原因なのかを分析して、対策につなげていく議論は必要だと思います。	その中で、育児休業に関する質問については非常に重要であると考えますが、一方で、前回調査時の調査票の中には「質問が重複しているもの」「回答が予想できるもの」があったため、削除を行いました。
6	「育児休業制度がない」という母親の回答は減っていますが、「職場の雰囲気」「収入の問題」についての回答は増えています。有意差はないかもしれませんが、継続して調査することで、傾向がはっきり見えてくるのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、改めて精査し、質問項目を整理しました。
7	【就学前】調査票の問①について、「保育園に入れば…」という文言が抜けているのではないのでしょうか。	調査票全体を見直した結果、問①を削除したいと思います。問 10 と修正した問 41 をクロス集計することにより、この質問で伺いたいデータを取得できるのではないかと考えています。

No.	ご意見	区の考え方				
8	問 30「父親の子育てへの参加の程度」、問 47・48「理想の子ども数」に関する質問が、家庭や生活の在り方が多様化を理由に削除されています。 少子化対策に係る質問であり、削除しなくてもよいのではないのでしょうか？	次世代育成支援行動計画の策定当初から続く質問であり、少子化対策に関連することは承知しています。 しかしながら、家庭・生活のあり方や価値観の多様化を受け入れていこうという現代において、「子どもが多いほうがよい」という前提に立ったような質問を伺っているのかという問題もあります。 ご意見をいただき、事務局で再度検討しましたが、社会情勢を踏まえて、このような質問を伺うのは控えたいと考えています。				
9	問 47・48 で「理想」という表現はよくないので「ほしい」という表現に変えた方がよいと思います。					
10	問 48 で問 47 の理由を伺っていますが、「保育施設の整備が十分でないこと」や「労働時間の問題」などについては、検出しづらい選択肢となっているので、追加するのはいかがでしょうか？					
すべての方にうかがいます。 問47 理想では子どもは何人ほしいですか。また、実際には何人の子どもを持つことができると考えていますか。 <table><tr><td>①理想の（ほしい）子どもの人数</td><td>人</td><td>②実際に持つことができる子どもの人数</td><td>人</td></tr></table> 前問で、理想の子ども的人数と比べて、実際に持つことができると考える子ども的人数が少ない方にうかがいます。 問48 実際に持つことができると考える子ども的人数が、理想の（ほしい）子どもの人数より少ないのはどうしてですか（あてはまるものすべてに○）。 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから 7 ほしいけれどもできないから 2 子どもがのびのび育つ環境ではないから 8 夫の家事・育児への協力が得られないから			①理想の（ほしい）子どもの人数	人	②実際に持つことができる子どもの人数	人
①理想の（ほしい）子どもの人数	人	②実際に持つことができる子どもの人数	人			
11	【就学前】調査票に、幼稚園に求められているニーズを掲載してはいかがでしょうか？	幼稚園に限定せず、教育・保育事業に求めることを伺う質問を、問⑤として追加しました。				
問⑤ 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業等に求めることはどのようなことですか。（○は3つまで） 1 ルールや社会性を身につけさせてくれること 2 相手を思いやるなどの道徳心を育てること 3 趣味や関心事などを才能を伸ばすこと						

以上